

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）エイズ予防のための戦略研究

（課題名）首都圏および阪神圏の男性同性愛者を対象とした HIV 抗体検査の普及強化プログラムの有効性に関する地域介入研究

市川誠一（名古屋市立大学看護学部・教授）、木村哲（財団法人エイズ予防財団理事長／東京通信病院・院長）、岡慎一（国立国際医療センター・エイズ治療・研究開発センター・センター長）

男性同性間の性的接触による HIV 感染者およびエイズ患者の報告数が著しく増加していることから、首都圏および阪神圏に居住する MSM（男性と性的接触を有する男性）を対象に、HIV 抗体検査促進のための啓発普及プログラムを実施し、HIV 抗体検査件数を 2 倍に増加させ、AIDS 発症者を 25% 減少させることを目的とした。

2006 年から 5 年間、研究計画書に沿って啓発、検査、相談、評価調査の体制を整備し、1) MSM の HIV 抗体検査受検行動を促進する啓発資材・プログラムの開発と普及、2) MSM の HIV 抗体検査体制の確保と受検機会の拡大、3) HIV 検査で陽性が判明した人への相談や受診支援の確立、4) 評価調査体制の整備と調査の実施を行った。

a. 首都圏地域の MSM を対象にした研究

2007 年度から予防・検査・相談・治療の情報を包括的にまとめたインターネットサイト・HIV マップを開発し、2008 年度までに啓発資材等を普及させる MSM コミュニティでのネットワークを構築した。MSM の HIV 検査受検促進の受入に応じた保健所等検査機関を「あんしん HIV 検査サーチ」として Web、紙媒体にて広報した。2009 年度からは AIDS 発症を予防するための「できる！」キャンペーンとして、HIV マップや MSM 向け検査機関などを多様なネットワークを活用して広報した。戦略研究によって新宿以外の上野、浅草、新橋、横浜等への啓発介入が実施できた。

b. 阪神圏地域の MSM を対象にした研究

2007 年度に STD 等クリニック 3 医療機関での MSM 対象の HIV 抗体検査キャンペーン体制を構築し、2009 年度からは 7 医療機関で 5 月～12 月末まで検査キャンペーンを実施した。Web を介した啓発広報、商業施設を介した啓発広報、公共空間（公園）における受検行動促進啓発イベント『PLuS+』の啓発広報により、阪神圏 MSM に向けて STD 等クリニックや他の HIV 検査機関での受検促進を図った。HIV 陽性者の支援相談体制として陽性者サポートプロジェクト関西（POSP）による電話相談および HIV 陽性者支援のグループプログラム「ひよっこクラブ」を新規に開設した。

c. MSM 受検者を把握する調査

HIV 検査件数とその推移を把握する受検者数動向調査、受検者中の MSM の割合と推移、MSM と非 MSM の啓発資材認知の差異などを把握する受検者アンケート調査を首都圏、阪神圏の一部の保健所およびクリニックで実施した。

首都圏および阪神圏の男性同性愛者を対象とした HIV抗体検査の普及強化プログラムの有効性に関する地域介入研究

目標: 受検者数倍増とエイズ発症報告25%減少

受検行動を促進 → 検査件数の増加 → AIDS患者発生の減少

方法: HIV陽性率が高いMSMに対して...

検査体制整備 ・受けやすい検査体制の整備を図り、十分な検査機会を提供する

MSMが受けやすい保健所や公的検査機関、STDクリニックの確保

支援・相談体制整備 ・受検行動や受療行動を支援する相談体制を整備する

告知後の 陽性者の不安・心配・悩みへの相談環境整備

普及啓発・広報 ・ゲイNGOが訴求性の高い広報キャンペーンを行う

受検意思を促進するための啓発
安心して受検できる検査機関の広報
検査前、検査後の不安や悩みについての相談機関の広報

首都圏の研究構成

○MSM対象 ゲイNGOによる広報キャンペーン
(キャンペーン企画、資材・グッズ制作、普及・広報)
2009年からAIDS発症予防「できる!キャンペーン」
2010年:第1期(6-7月)、第2期(8-9月)
第3期(10-11月)、第4期(12-1月)
・ゲイタウン広報:ミーティング/バー向け季刊誌発行
TOMARI-GI, TOMARI-GI café EVENT
・様々なゲイ関連グループとのコラボレーション
サークル、クラブイベント、ハッテン場、東京パレード等
・メディアとのコラボレーション:メディア(雑誌, web), 東京 FM

○副次項目調査
・活動プロセス記録
・MEN-Do
キャンペーン
啓発資材の認知,
HIV検査受検動向,
予防行動の調査
・質的調査

○相談支援

・Webや紙媒体での
基本情報発信
HIVマップ、
お役立ちナビ情報

○検査環境改善:検査機関確保・周知

・MSM向けHIV検査情報提供
あんしんHIV検査サーチ(Web、紙)
・検査従事者の研修

○主要評価調査

保健所等:
80施設
クリニック:
9施設
(含むMSM定点保
健所等)

MSM定点保健所等
39施設

HIVマップ

※HIVマップについて ネットボックス・オンライン
スクリーン・印刷・ダウンロード
HIVお役立ちナビ | HIV/AIDSガイド | あんしんHIV検査サーチ | レポート

HIV/AIDSについて不安を感じたとき、セーフティーセックスについて知りたいとき、検査してみようか迷っているとき、陽性という結果を受け取ったとき、あなたの身近にいる人が陽性であるとき、このサイトは、一人ひとりが自分なりのリアルな疑問に答えたいことを応援しています。

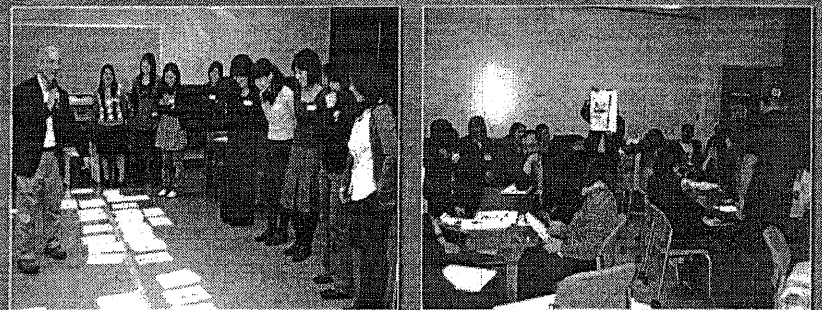
咳が治まらない友人に勧めた HIV検査。結果は「陽性」で 即入院の切羽詰まった状況だった。 言って良かった。 今も彼といっしょにいられるから。 検査を受ける前にも、あとにも、安心して相談を受けられる場所がありました。

12月モデル掲載開始!!
2010年度できる!新キャンペーンはコチラ!

◇Topics!
(最新情報・イベント)
◇About
(HIVマップとは)
◇HIVお役立ちナビ 12月15日更新
(HIVサポートの情報)
◇あんしんHIV検査サーチ
(ゲイ・バイ向け/首都圏検査情報)

検査環境改善プロジェクト

保健所など、HIV検査をおこなっている場所の職員を対象にした研修会を開き、ゲイ・バイセクシャル男性が安心して受けられる検査体制づくりに取り組んでいます。また、参加いただいた上で良い関係をつむぐことのできた保健所やクリニックを紹介する「あんしんHIV検査サーチ」というウェブサイトや冊子を作りました。



阪神圏の研究構成

○MSM対象 ゲイNGOによる広報キャンペーン
 「STDクリニック検査キャンペーン」2008年—2010年
 ・商業施設利用者への映像啓発資材による広報普及
 ・インターネット利用者へのポータルサイトとMSM向けのHIVを含むSTIとセーフセックスに関する情報サイト
 ・商業施設非利用者に対する介入プログラム
 公共空間における受検行動促進啓発イベント
 『PLuS+2009』『PLuS+final』

○副次評価調査
 ・活動プロセス記録
 ・Plus+ RDS調査
 啓発資材の認知、HIV検査受検動向、予防行動の調査
 ・質的調査

○相談支援
 陽性者支援のための電話相談体制
 「POSP電話相談」
 ・webや紙媒体での広報
 ・検査従事者の研修

○検査環境改善:検査機関確保・周知
 ・MSM向けHIV検査情報提供
 STDクリニック検査キャンペーン

MSM定点
 STDクリニック
 7施設

○主要評価調査
 保健所等: 29施設
 クリニック: 12施設
 (含むMSM定点STDクリニック)

MSMが受けやすい STDクリニックの確保 クリニック検査キャンペーン

目的 診療所におけるMSMのHIV/STI検査受検機会の拡大 (MSMのHIV/STI検査受検率の増加)
 ・MSMが安心して受検/受診しやすい診療所の発掘と開発
 ・診療所とMSMの距離感を縮める

方法 ① 京阪神圏におけるMSMのHIV対策に前向きな診療所の開拓
 ② 協力診療所で、MSM向けエイズ検査割引キャンペーンを実施
 ③ HIV検査に加え、その他の性感染症検査も実施
 ④ 広報はMSMに特化

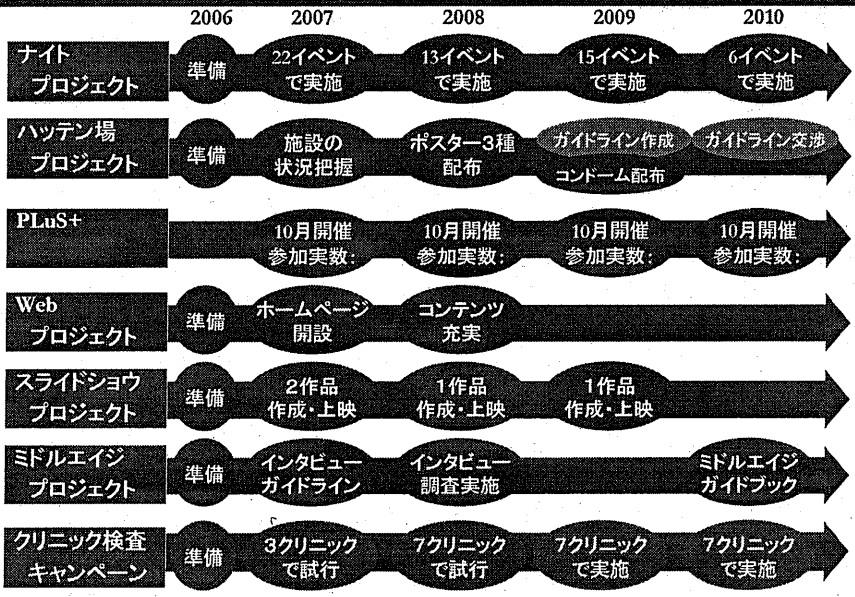
MSMが受けやすい HIV検査会の実施 HIV迅速検査会MaQ

対象者 HIV感染の可能性の高い状況にあるが、わざわざHIV検査に行かない人

目的 ① 受検へのハードルを下げた大規模なHIV迅速検査の提供と効果評価
 ② 潜在的HIV陽性者の早期受検と適切な受診の促進

方法 ① 大形イベント(PLuS+)の機会を利用。
 ② 検査会そのものは広報しない(来たらたまたまやっていった)
 ③ 有料(¥300)匿名のHIV迅速検査(要確認の場合は翌日結果受取)
 ④ リスクアセスメントの導入 ⑤ HIV陽性結果への支援体制を充実

普及啓発・広報 プログラム実施の流れ



大型イベントでの介入

PLuS+ (2007-2008-2009-FINAL)

2007~2010年度アウトプット

2007	●パンフレット【約20,000部】 ●10月27日に扇町公園をメイン会場に開催 推定来場者数【約5,000人】 約7割(推計約3,600人)がゲイ・バイセクシュアル			
2008	●パンフレット(クリニック検査広報掲載)【約20,000部】 ●10月12日に扇町公園をメイン会場に開催 推定来場者数【約5,991人】 約6割(推計約3,532人)がゲイ・バイセクシュアル			
2009	●パンフレット(クリニック検査広報、POSP広報掲載)【約17,000部】 ●10月11日に扇町公園をメイン会場に開催 推定来場者数【約5,406人】 約6割(推計約3,459人)がゲイ・バイセクシュアル			
2010	●パンフレット(クリニック検査広報、POSP広報掲載)【約20,000部】 ●10月10日に扇町公園をメイン会場に開催 推定来場者数【約6,320人】 約6割(推計約3,949人)がゲイ・バイセクシュアル ●HIV迅速検査回MAQ【受検者数189人、全員結果受取、】			